



▼ 南北海道帆走協会理事

佐藤義宏氏を偲んで

平成25年3月15日ご逝去、その一報が入った。日本の平均寿命から見てまだまだ若い70台前半の年齢はヨットマンとしてはまだまだ活躍できる成熟感あふれる体力の状態であったと思うが、たいへん残念な結果となった。1年前頃から体調に異変が感じられ東京の医療機関で治療を重ねて来たが、家族の献身的な看病もむなしくその思いが通じなかった。

佐藤義宏氏は学生時代からディンギーを始め長年に渡り函館ヨット協会の役員を務め、さらには外洋帆走協会では理事の任に当たりました。特に濫觴会の発足にあたりその貢献度は我々ヨットマンとして鏡であり、またその精神を受け継がねばならないと思う。無口で温厚で表情をあからさまに出す人では無かったが、そのひたむきなヨットに対する情熱は誰にも負けない人でした。葬儀には教員仲間やヨット関係者が多数参列し早すぎた逝去に手を合わせるばかりだった。ご冥福をお祈りします。

▼ 2013年始動

長く寒い冬を越しようやく桜の声も聞く季節になって参りました。

今冬は特に雪も多く皆さんに於いても待ちわびた春と存じます。3月31日(日)には前期の上架も無事終了。いつもの年であれば頭から水をかぶったり、顔に藻が跳ねたりだったのが、今回は上架はしたものの手持ちぶさたで自艇を眺めたり、物を下ろすことぐらいで解散となりました。

その後の油被害についての対応も本日の理事会で明らかになっていくことと思います。

▼ 沖縄から函館へ ヨット<マイウェイ>の航海 Vol 4

5月22日(日) 曇り時々晴れ

西海パールシーマリーナ

横山氏のヨット<セリーヌ>で島めぐり。迷路のような水路を進む。チャートを見ていてもどこを通っているのかよくわからないのだ。今日は人任せのデイクルージングに徹することにした。しばらく走った後、小さな湾の定置アンカーに舫い昼食である。横山氏は焼き肉とビールを用意してくれていた。緑に囲まれた名もない入り江でのひと時。夢なら覚めないでくれと言いたくなるような状況である。

5月25日(水) 晴れ時々曇り後雨

パールシーマリーナ→平戸港

お茶漬けとタベのお好み焼きの残りで朝食を済ませ、7:00にポンツーンを離れる。西海国立公園の中のクルージングである。内海のせいか風がある割には波が小さく走りやすい。ただ風が真向かいから吹いてくるため20分おきのタッキング。由美子と呼吸を合わせて行う久しぶりのショートタッキングの繰り返しも楽しいのだ。左側には平戸島が見えている。13:00平戸大橋を通過し入港。昔のフェリー用ポンツーンに舫う。ポンツーンには<打瀬丸>(ナウティイキャット35)と<K&K>(オカザキ34)の先客。夕方、近くのホテル

屋上の露天風呂に入る。風景は抜群だ。しかし寒い。雨が降ってきたのだ。屋根は全くかかっている正真正銘の露天風呂である。当然入浴客は私達二人だけ。

5月27日(金) 曇り後雨

平戸港→福岡県博多港福岡市立ヨットハーバー

今日は唐津の高島港までと思っていたが、明後日、台風2号が接近しそうなので少々距離はあるが福岡まで行くことにする。<打瀬丸>と<K&K>は「うくフィッシャリーナ」へ避難。3艇ほぼ同時刻に出港。伊万里湾、唐津湾の沖を通過。時間があれば寄ってみたい所が点在しているのに残念だ。12:30博多湾に入る。元寇の土地である。金印の土地である。13:30入港。台風はしのげそうな作りだ。マリーナのスタッフも非常に親切かつ好意的。

5月28日(土) 雨

福岡市立ヨットハーバー(通称、小戸マリーナ)

地元のヨットマン栄氏と再会。一昨年のHYC函館クルーズ以来である。3人で「長浜ラーメン」を食べ、「博多山笠資料館」の見学。夕方、バス、地下鉄を乗り継いで「中州」の屋台で一杯。函館を出て以来の大都市である。人の多さと都会の人の歩く速さにオタオタしてしまう。

5月29日(日) 曇り時々雨

福岡市立ヨットハーバー

台風が近づいている。沖縄では昨日55メートル吹いたとのニュース。屋久島の塚田氏から「様子はどうか？」との電話。屋久島もずいぶん吹いたようだ。徐々に風が強まってきた。こんな中、栄氏が来てお好み焼きを作ってくれる。御存じ、栄氏はお好み焼きのプロ?である。一時はパリにお好み焼きの店を出そうとしたくらいの腕前なのだ。材料、フライパン、コンロ、すべて持参。地元艇のメンバーも参加し盛り上がる。台風などどこ吹く風である。最高のお好み焼きのあとは焼きそばだ。船が揺れているのか焼酎で体が揺れているのか分からなくなってしまった。

5月31日(火) 曇り 福岡港→福岡県宗像市大島港

荒れることで有名な玄界灘である。博多湾入り口の能古島(のこじま)をかわしてから帆走に移る。右側には金印が発見された志賀島(しかのしま)も見えている。今日も風力3~4の北よりの風。14:00大島港に入港したが漁港は満杯のため隣の避難港へ移動。その南側にはプレジャーボート用の舟入間もあるが落ち着いて係留できるような施設には見えない。その上料金も常識外れに高価。着岸後、ヨット2隻入港。1艇は網走のヨット<海鷹>(かいよう)だ。

6月1日(水) 雨後曇り後晴れ

大島港→山口県下関市室津フィッシャリーナ

九州を離れ、いよいよ日本海に入る。5:15起床。朝食、カレーライス。今日で何食目なんだろう。そのうち体が黄色くなってしまわないだろうか。随分昔、一人暮らしをしていた頃、朝夕4日続けてカレーライスを食べたことがあった。5日目、ついにクラスの